

## 2013 IFDS World Blind Sailing Championship プレ大会

### Riviera Cup 第11回全日本ブラインドセーリング選手権大会

## 帆走指示書

### 1. 規則

- 1.1 本大会はセーリング競技規則2009～2012（以下RRSと言う。）に定義された規則を適用する。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告はレース本部（シーボニアマリーナ事務所）前に設置された公式掲示板に掲示される。

### 3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の第1レーススタート時間の60分以前に掲示される。
- 3.2 海上において変更する場合は、予告信号前に本部艇にL旗を掲揚し口頭により各艇に通告する。
- 3.3 日程の変更はそれが発効する前日の18:00までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号はレース本部前のポールに掲揚される。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「40分」以降と置き換える。

### 5. レース日程

- |          |       |                         |
|----------|-------|-------------------------|
| 5月25日（金） | 16:00 | 受付開始                    |
|          | 16:30 | 艇長会議                    |
|          | 17:00 | 開会式・前夜祭                 |
| 5月26日（土） | 9:25  | 最初のレースの予告信号             |
|          |       | 当日は5レース予定               |
|          |       | 但し、15:30以降に予告信号は発せられない。 |
|          | 18:00 | ウエルカムパーティー              |
| 5月27日（日） | 8:55  | その日の最初のレースの予告信号         |
|          |       | 当日は3レース予定               |
|          |       | 但し、13:00以降に予告信号は発せられない。 |
|          | 16:00 | 表彰式・閉会式                 |

### 6. クラス旗

クラス旗はリビエラ旗とする。

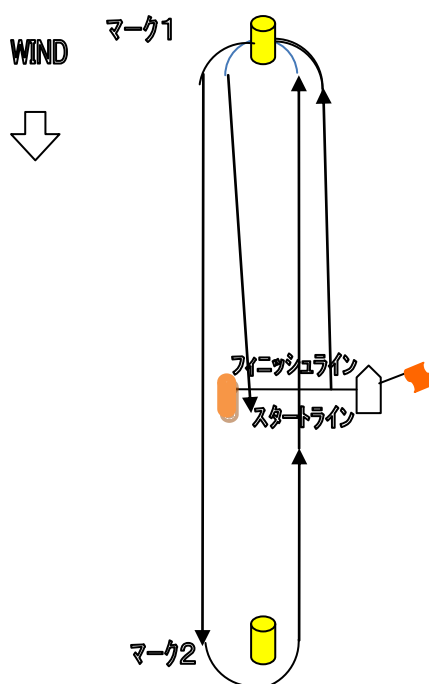
7. レース旗

レース旗は艇長会議にて配布する JBSA 旗（小）とする。レース旗はレース中バックステーに掲揚しその位置は下端から 1,5m 以上とする。

8. レースエリア

シーボニアマリーナ沖

9. コース スタート—M1—M2—M1—フィニッシュ



10. マーク

マークは膨張式・黄色円筒形のブイとする。但し、スタート及びフィニッシュアウトサイドマークは膨張式・オレンジ色・円筒形ブイとしマーク 1、マーク 2 にはスポンサー名が記載された帯が巻かれている。

尚、S I - 1 1 の新しいマークは膨張式・黄色三角睡ブイを使用する。

11. スタート

11.1 レースは、規則 2 6 を用いて、予告信号をスタート信号の前 5 分とし、スタートする。

11.2 スターティング・ラインはスターボサイドの端となるレースコミッティーボートのオレンジ旗を揚げたポールとポートサイドのスターティング・マークの間とする。

- 11.3 スタート信号後4分を経過してスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』と記録される。これはRRS・A4を変更している。
- 12. コースの次のレグの変更**  
コースの次のレグを変更する場合には、レース委員会はSI9に示したマークを設置、実行できれば直ぐに元のマークを撤去する。その後、レグを変更する場合には元のマークを使用する。
- 13. フィニッシュ**  
フィニッシング・ラインは青色旗を揚げた運営艇のオレンジ旗を揚げたポールとフィニッシング・マークの間とする。
- 14. ペナルティー**  
14.1 RRS第2章の規則違反ならびにRRS-31の違反については、1回転ペナルティーとする。これはRRS-44.1を変更している。  
14.2 スキッパーまたはジブシート・トリマーがレース中に舵、メインシート、メインシートトラベラーの操作を行った場合には、レース公示14.3の事項に該当するか否かに関わらず、その後可能な限り速やかに1回転ペナルティーを履行しなければならない。  
但し、回転方法についてはRRS-44.2を準用する。
- 15. タイムリミット**  
RRS28.1に従ってコースを帆走したトップ艇のフィニッシュ時刻から10分以内にフィニッシュしなかった艇はDNFと記録される。  
これはRRS-35、RSS-A4、A5を変更している。
- 16. 抗議・救済の要求**  
16.1 抗議・救済の要求はRRS-61およびRRS-62に従うこと。  
16.2 RRS61.1(a)に次の規定を追加する。「抗議する艇は、フィニッシュ後、スターボード・サイドに位置する本部艇または運営艇に口頭で抗議の意思と相手艇のボートナンバーを申告しなければならない。」これはRRS61.1(a)を変更している。  
16.3 抗議・救済の要求は所定の用紙に記入し、抗議締切時間内にレース委員会に提出しなければならない。抗議締切時間は当該レース日の最終レースにおける最終艇のフィニッシュ時刻あるいはレース信号・[N/A旗]掲揚時刻から90分間とする。
- 17. 得点**  
17.1 RRS-Aの低得点方式を適用する。  
17.2 今大会は最大8レース実施し、2レースの完了を以って成立とする。  
17.3 得点は、完了したレースの得点の合計とする。  
但し、5レース以上完了した場合には、最も悪いレースの得点を除外

した得点の合計とする。

## 18. 安全規定

乗員は全員、離岸から着岸までの間ライフジャケットを着用していなければならない。

## 19. 艇の調整の制限

レース艇は次の場合を除き、貸与された時の状態で使用し、如何なる調整も行ってはならない。

- 1) 艇に風見（紡ぎ糸やより糸）をつけること。
- 2) 艇体を水洗いすること。

## 20. スキッパーの義務

20.1 各艇のスキッパーは、出艇および帰着の際はレース委員会が管理する申告書に必要事項を記入し、同委員会の確認を受けなければならない。

20.2 各艇のスキッパーは、艇体および備品等に損傷および問題が発生した場合には、当該レース終了後、海上においてピンクフラッグをバックステイに掲揚し、その旨をレース委員会に報告して指示を受けなければならない。

## 21. 賞

1位～3位のチームに賞を授与する。

## 22. 責任の所在

22,1 レースに参加及び継続するか否かは、各艇の責任にある。

22,2 大会の前後及び期間中に発生した乗員及び艇に関わる事故についての責任は各チームが負うものとし、本大会の主催者及び後援、協賛等の関係する団体は如何なる責任も負わない。

22,3 各チームは主催者から貸与された艇・備品等については、善良な管理者としての義務を負うものとし、艇の損傷に因る修理等については、その責任は各チームにある。